

第54回全日本中学校通信陸上競技大会要項

1. 主 旨 各都道府県ごとに陸上競技大会を行い、その成績を日本陸連に集め、各種目ごとに全国順位をつける通信競技大会とし、陸上競技の正しい普及と発展のために、この大会を通じて、中学生の精神的・身体的な正しい訓練を助成するものである。
2. 主 催 財団法人日本陸上競技連盟・財団法人日本中学校体育連盟・各都道府県陸上競技協会・各都道府県中学校体育連盟
3. 後 援 各都道府県教育委員会 NHK 朝日新聞社
4. 期 日 平成20年6月 1日(日)～7月27日(日)までに各都道府県会場において実施する。
5. 競 技 場 各都道府県内の財団法人日本陸上競技連盟公認第2種以上の陸上競技場
6. 競 技 種 目 (1)男子16種目
1年100m 1年1500m 2年100m 3年100m
[共 通]
200m 400m 800m 1500m 3000m 110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(5kg)
四種競技 (①110mH ②砲丸投(4kg) ③走高跳 ④400m)
(2)女子12種目
1年100m 2年100m 3年100m
[共 通]
200m 800m 1500m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投
四種競技 (①100mH ②走高跳 ③砲丸投 ④200m)
《備 考》 (1)ハードルは次の規格で行う。
男 子……110mH 個数10台 高さ0.914m インターバル13.72m－9.14m・14.02m
女 子……100mH 個数10台 高さ0.762m インターバル13.00m－8.00m・15.00m
(2)四種競技を実施方法は、1日あるいは2日間で行う。(但し、順番は上記の通り)
得点表は10種競技・7種競技のものを使用する。
(3)砲丸投の砲丸は、男子5.0kg、女子2.721kgを使用する。
7. 競 技 規 定 (1)2008年度財団法人日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項を適用する。
(2)トラック競技は写真判定とする。
(3)風力計測については、デジタル風速計を使用する。
8. 参 加 資 格 (1)各都道府県中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で学校長が参加を認めた者。
(2)全国中学校体育大会に参加を認める「参加資格の特例」
①学校教育法第83条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選大会に参加を認められた生徒であること。
②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア. 全国大会の参加を認める条件
・財団法人日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
・生徒の学齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
・参加を希望する学校にあたっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員のもとに適切に行われていること。
イ. 全国大会に参加した場合守るべき条件
・全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従う事とともに大会の円滑な運営に協力すること。
・全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また、万一の事故に備え、傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
・大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
9. 参 加 制 限 (1)1人2種目以内とする。但しリレーは除く。
(2)学年別種目は該当学年の生徒に限る。学年別種目のあるものについては共通種目への参加はできない。
(3)各都道府県大会に出場する方法については、各都道府県で独自に決めることができる。

- 10. 競技方法** (1)各都道府県大会を7月27日(日)までに実施すること。
(2)各都道府県大会は、1会場を原則とするが、2会場以上の場合は、都道府県で記録を集計して8位までを報告する。
(3)トラックレースのうち800m以上は、予選、決勝を行わないで、タイムレースで上位8名の成績としてもよい。
- 11. 表彰** 各種目の優勝者にバッジを、8位(リレーは3位)までに賞状を授与する。
- 12. 成績の集計** 各都道府県で行われた、全日本中学校通信陸上競技大会の成績(一覧表、予選・決勝、個人票)をまとめて7月28日(月)必着で、財団法人日本中学校体育連盟 陸上競技部長舟橋昭太宛に送付すること。記録を集計し、全国順位100位までを全日本中学校陸上競技選手権大会の際に発表する。詳細は運営要項参照のこと。
◎全国順位の記録集計では手動計時は対象としない。やむをえず手動計時になった記録については、0.24秒または0.14秒をプラスして順位をつける。
◎各種目全国10位(リレーは6位)までに賞状、6位(リレーは3位)までにバッジを授与する。
- 13. 経費** 財団法人日本陸上競技連盟より、各都道府県(加盟団体)に対して、金80,000円を補助する。
- 14. その他** (1)この大会の3年生参加種目については国体(少年B・少年共通種目)予選会を兼ねる。大会プログラム表紙にその旨を明記すること。
(2)競技中に発生した負傷・疾病については、応急処置等の措置は主催者において行う。
(3)商標について
商標などの規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守すること。
これに反した場合は、主催者で処理する。
① 上半身の衣類(シャツ・レオタード)
製造会社名:ロゴは、1ヶ所表示することができる。表示の文字の高さ4cm以内、
全てのロゴの高さは5cm以内で、30cm²以内の長方形とする。
② 下半身の衣類(ショーツ・タイツ)
製造会社名:ロゴは、1ヶ所表示することができる。表示の文字の高さ4cm以内、20cm²以内とする。
③ バック
製造会社名:ロゴは、2ヶ所表示することができる。表示は25cm²以内とする。

第54回全日本中学校通信陸上競技大会運営要項

1. 主 旨 各都道府県ごとに陸上競技大会を行い、その成績を日本陸連に集め、各種目ごとに全国順位をつける通信競技大会とし、陸上競技の正しい普及と発展のため、この大会を通じて、中学生の精神的、身体的な正しい訓練を助成しようとするものである。
2. 主 催 財団法人日本陸上競技連盟・財団法人日本中学校体育連盟
各都道府県大会では都道府県陸上競技協会・同中学校体育連盟が共催に加わる。
3. 後 援 各都道府県教育委員会・NHK・朝日新聞社
4. 期 日 平成20年6月1日(日)～7月27日(日)までに、各都道府県会場において実施する。(成績は7月28日(月)までに必着のこと)
5. 競 技 場 各都道府県内の日本陸上競技連盟公認第2種以上の陸上競技場とする。
6. 大会運営 (1) 本大会を正しく実施運営するため、各都道府県は委員会を設け事務を担当処理する。
(2) 各都道府県で組織体を設けないときは、中学校体育連盟責任者は都道府県陸上競技協会と事務分担を決める。この場合の責任は、その都道府県陸上競技協会が負う。
7. 事前報告 都道府県中体連陸上競技委員長は4月初旬までに、次の事項を報告する。
(1) 都道府県中体連陸上競技専門部委員長名・記録担当者名とその連絡先、電話番号
(2) 実施期日と実施種目、開催競技場とその所在地、電話番号
8. 大会名 第54回全日本中学校通信陸上競技○○(開催都道府県名)大会と称する。
9. 適用する競技規則 (1) 2008年度財団法人日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項とを適用する。
(2) トラック競技は写真判定とする。
(3) 風力測定については、デジタル風速計を使用する。
10. 申込とその方法 (1) 申込は学校単位とし、各都道府県委員会の定めるところに申込むこと。
(2) 申込用紙、個票は、各都道府県委員会で作成し、使用する。
11. プログラムに記載する事項 プログラムの形式はA4版とし、次の事項は記載されたい。
(1) 全日本中学校通信大会最高記録
(2) 各種目の大会記録
(3) その都道府県における最高記録(公認)
(4) 参加申込学校と参加人員数
(5) 各種目別参加申込者の氏名、学年、所属学校名
(6) 定時における競技場の気象状況及び各競技時の風力
(7) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、その他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用します。
12. 文書による報告(大会報告書、成績、その他) 各都道府県で行われた全日本中学校通信陸上競技大会の成績をまとめて、7月28日(月)必着で送付すること。報告が遅れた場合は集計の対象としない。
全国順位100位までを全日本中学校陸上競技選手権大会の際に発表する。

送付先 〒273-0041千葉県船橋市旭町2-23-1 船橋市立旭中学校内
財団法人日本中学校体育連盟陸上競技部事務局 舟橋昭太宛

- (1) 成績報告書
 - 1) 報告書(様式1)
 - 2) プログラム1部
 - 3) 決勝成績一覧(各都道府県様式)1部
 - 4) 予選記録一覧1部、フィールド記録用紙1部(リザルトでも可)
 - 5) 全国順位集計標準記録突破者の各種目の個票(男子:白、女子:ピンク)
 - 6) フロッピーディスク
(入力方法、フロッピーは全国委員長会議の時に配布する。)
- (2) 結果報告は他団体よりも最優先で送付する。

《全国順位集計標準記録》

[男子]		[女子]	
1年	100m (12" 45)	1年	100m (13" 50)
1年	1500m (4' 35" 00)	<u>2年</u>	<u>100m (13" 00)</u>
2年	100m (11" 80)	<u>3年</u>	<u>100m (12" 90)</u>
3年	100m (11" 45)	<u>共通</u>	<u>200m (26" 45)</u>
共通	200m (23" 25)	<u>共通</u>	<u>800m (2' 18" 50)</u>
共通	400m (53" 10)	<u>共通</u>	<u>1500m (4' 43" 00)</u>
共通	800m (2' 03" 00)	<u>共通</u>	<u>100mH (15" 20)</u>
共通	1500m (4' 13" 00)	<u>共通</u>	<u>走高跳 (1m50)</u>
共通	3000m (9' 05" 00)	<u>共通</u>	<u>走幅跳 (5m15)</u>
共通	110mH (15" 60)	<u>共通</u>	<u>砲丸投 (11m50)</u>
共通	走高跳 (1m75)	共通	四種競技 (2000点)
共通	棒高跳 (3m50)	<u>共通</u>	<u>4×100mR (51" 50)</u>
共通	走幅跳 (6m15)		
共通	砲丸投 (12m00)		
<u>共通</u>	<u>四種競技 (2100点)</u>		
<u>共通</u>	<u>4×100mR (45" 50)</u>		

13. 都道府県番号(報告書類については下記の番号を使用すること。)

1(北海道)	2(青森)	3(岩手)	4(宮城)	5(秋田)
6(山形)	7(福島)	8(茨城)	9(栃木)	10(群馬)
11(埼玉)	12(千葉)	13(東京)	14(神奈川)	15(山梨)
16(新潟)	17(長野)	18(富山)	19(石川)	20(福井)
21(静岡)	22(愛知)	23(三重)	24(岐阜)	25(滋賀)
26(京都)	27(大阪)	28(兵庫)	29(奈良)	30(和歌山)
31(鳥取)	32(島根)	33(岡山)	34(広島)	35(山口)
36(徳島)	37(香川)	38(愛媛)	39(高知)	40(福岡)
41(佐賀)	42(長崎)	43(熊本)	44(大分)	45(宮崎)
46(鹿児島)	47(沖縄)			